

獨協医科大学埼玉医療センター 病院だより

2023.5
38号



● 主な内容 ●

- 獨協医科大学埼玉医療センターに厚生労働大臣より感謝状が交付され贈呈されました **2**
- 保険診療下で国内初となるTAV-in-TAV（経カテーテル的大動脈弁植込み術後生体弁機能不全患者に対する経カテーテル再治療）を実施 **2**
- 埼玉医療センター消防訓練（昼間想定）実施 **3**
- マスク着用継続へのご協力について（お願い） **3**
- エコキャップ回収活動報告書 **4**
- 病院への手紙にお答えいたします **5**

獨協医科大学埼玉医療センターに厚生労働大臣より 感謝状が交付され贈呈されました

埼玉医療センター移植センター 学内教授 徳本直彦

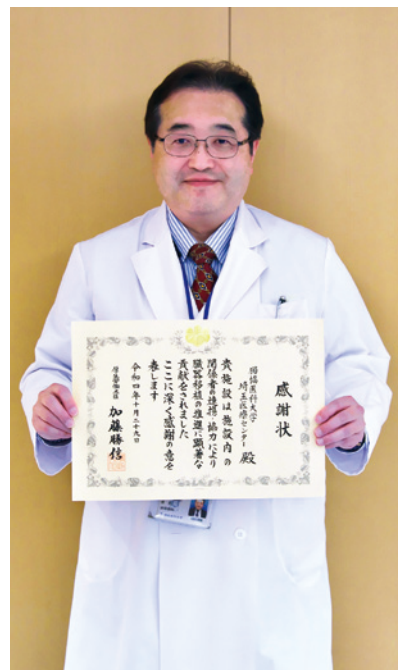
この度 2022 年 11 月 24 日付けで、公益社団法人日本臓器移植ネットワークより臓器提供施設に対して臓器移植の推進に顕著な功績のあった団体として当院が選定されたとの報告とともに厚生労働大臣より感謝状が届きました。

これは当院のこれまでの臓器移植の推進に向けて病院をあげての活動が高く評価されたものと思われまます。

当院での腎移植は、2017 年 11 月 15 日 埼玉医療センターと病院名改称し、新棟オープン後の 12 月 1 日、第 1 例目の生体腎移植から始まりました。現在まで腎移植数はすでに 98 例に至っておりますが、2021 年度には埼玉県下の腎移植数 1 位となり、本年 2022 年 3 月 18 日には、当院発生の脳死下臓器提供に対し腎臓摘出を移植センター、泌尿器科が主体となり遂行しました。更に同日当院にて透析歴 29 年の女性に対し第 1 例目の献腎移植を施行しました。この患者さんは長らくの透析療法から開放され現在は元気に当院移植外来にて通院加療中です。

感謝状の贈呈は、当院の臓器移植の推進に向けての姿勢が正に日本の国策に合致したものであり、移植センターとして更なる臓器移植の推進に向けて全力で活動して参る所存です。また、この場を借り、学長、病院長、当院における臓器提供、移植医療に係わる全ての医療関係者に対し心から感謝を申し上げます。

以上、厚生労働大臣より当院にその功績をたたえ感謝の意を表すとして厚生労働大臣感謝状の交付・贈呈された旨を代表してご報告させて頂きました。



保険診療下で国内初となる TAV-in-TAV（経カテーテル的大動脈弁植込み術後生体弁機能不全患者に対する経カテーテル再治療）を実施

埼玉医療センター ハートチーム

獨協医科大学埼玉医療センターでは 2023 年 4 月 3 日に、経カテーテル的大動脈弁植込み術後の生体弁機能不全に対する経カテーテル的な再治療である TAV-in-TAV を施行し無事に終了しました。保険診療下での同治療の実施は国内初となります。

大動脈弁狭窄症に対する手術負担の少ない治療として経カテーテル的大動脈弁植込み術（TAVI）が 2013 年に本国で承認されました。TAVI は良好な術後早期成績が報告され、国内で急速に普及しつつあります。この治療で使用される弁は生体組織を材料とする生体弁になります。生体弁は術後抗凝固薬の内服が不要である等患者さんへの負担が少なく高齢患者を中心に使用されますが、一方で経年的な劣化が問題点として挙げられます。外科的に生体弁に置換された患者で弁の機能不全が生じた場合、TAVI による治療介入が既に可能となっておりますが、TAV-in-TAV はこれまで認められていませんでした。承認から 10 年が経ち、TAVI 術後に弁機能不全を呈する患者もみられるようになった現状を受けて、2023 年 4 月から保険診療下での同治療の実施が可能となりました。TAVI は高齢、ハイリスク患者が対象となることが多く、術後弁機能不全が生じた際にも経カテーテル的に負担少なく再治療が実施できることは同治療を受けた患者にとって大きな安心につながります。

当センターは、全国の TAVI 実施施設へ指導を行うプロクター医師が在籍する TAVI 専門施設として、一般の大動脈弁狭窄症患者以外にも、透析や開胸・TAVI 術後の生体弁機能不全患者に対して TAVI を実施可能な首都圏北部唯一の施設（2023 年 3 月末現在）となっております。地域の中核となる心臓弁膜症治療センターとして今後もその責務を果たしていきます。

埼玉医療センター消防訓練（昼間想定）実施

埼玉医療センター 庶務課

3月31日（金）午後3時より、1号館地下1階談話室を出火元とし、昼間の時間帯で地震に伴う火災を想定した消防訓練を実施いたしました。

今回は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から規模を縮小しつつ、自衛消防隊（初期消火班・避難誘導班）の役割確認、エアストレッチャーを活用しながら地下から地上へ階段を利用した負傷者の避難誘導を目的としました。

訓練終了後、災害対策委員長の松島教授より「訓練時だけでなく、普段から災害を意識していないと実際に災害が起こった際に動くことができない。所属部署内で情報共有をし、災害に対する意識を高めてほしい。」とコメントをいただきました。

今後とも自衛消防本部長を中心とし、防災活動に努めていきたいと思っておりますので、教職員の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



マスク着用継続へのご協力について（お願い）

政府の方針により、令和5年3月13日からマスクの着用については個人の判断に委ねられることとなりましたが、医療機関においてはマスクの着用が推奨されております。

つきましては、当センターにおいては患者さんの安全の確保および院内感染防止対策の観点から院内では引き続きマスク着用といたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

 獨協医科大学 埼玉医療センター
Dokkyo Medical University Saitama Medical Center

病 院 長

エコキャップ回収活動報告書

拝啓 貴院におかれましてはますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。

平素より、格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

エコキャップ回収活動について下記のとおりご報告いたします。

今後も本活動に係わらずご協力を惜しまず対応いたしますので、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

- 1. 期間： 2022年4月22日～2022年9月26日（158日）
- 2. 個数（重量）： 17,217個（40.04kg）
※約個3,269個／月（30日換算）
- 3. ポリオワクチン換算： 約20人分
※約3.8人分／月（30日換算）

以上

キャップ実績レポート

このたびは「キャップの貯金箱推進ネットワーク」の活動にご協力頂きましてありがとうございます。皆様の温かいお心に感謝申し上げます。

■今回のご提供キャップ（2022/09/26 分）（回収分）

重量	個数（概算）	預かり寄附金
40.04 kg	17,217 個	400 円

ワクチン種類	一人分の価格	合計
ポリオ（小児麻痺）	約 20 円	約 20 人分

※ 1 kg = 約 430 個 = 約 ¥10 の計算になります。

上記の数値はご提供いただいたキャップを売却した際の数字ですので市場動向により変動することがあります。

また、ワクチンはポリオ以外に BCG（約 ¥7）・はしか（¥95）・MMR（約 ¥114）・DPT（約 ¥9）など、あります。

寄付金額（重量 × 10 円）は一時お預かりしたあと、後日「世界の子どもにワクチンを日本委員会」様に送金いたします。

CO ₂ 換算	126.13 kg	の削減に繋がりました。
--------------------	-----------	-------------

※ CO₂ の換算方法は、キャップ 1 kg（約 430 個）をごみとして焼却すると CO₂ が 3150 g 発生しますので、重量（kg） × 3150 g で計算しています。

■これまでの合計

総重量	1579.06 kg
-----	------------

■障がい者施設からのお礼

皆さんのおかげで楽しくお仕事をしています。ありがとうございます。
 柏の葉（立川市） 天成舎（国立市） こだち（狛江市）
 おおやま（板橋区） バオバオ（東久留米市）



今後とも「キャップの貯金箱」運動にご協力いただけますようよろしくお願い致します。

特定非営利活動法人 『キャップの貯金箱推進ネットワーク』

病院への手紙にお答えいたします ～2023年春号～

* 駐車場料金について

来院する際、東武新越谷第3駐車場を利用しています。駐車券を割引しても最低200円がかかります。無料にしてほしいです。

お答えいたします

この度は貴重なご意見をありがとうございます。当院は東武線・JR線の駅に近く、路線バスが病院前で発・到着するなどアクセスの利便性を確保しております。一方、その立地条件等により自院での患者さん専用駐車場の確保は困難な状況ではありますが、高架下駐車場をはじめとする一部有料駐車場は病院利用者への割引が適用され、患者さんへの負担は軽減されております。（庶務課）

* 入院時の COVID-19 抗原検査について

入院する際に、入退院窓口待合にて抗原検査の待機をしていたが、時間がかかりすぎだと感じます。入院患者の検査時間を分散させる等、対応を検討していただきたいです。

お答えいたします

この度は、貴重なご意見ありがとうございます。入院時の抗原検査については、入院時間を調整し混雑緩和に努めてまいります。（入院課）

* 自動販売機について

自動販売機にて温かいお茶の販売をしてほしい。

お答えいたします

4号館4階ダイルーム自動販売機の商品構成についてですが、確認したところ、ご希望商品が販売されていない状況でした。現在、サービス提供事業者を連携し商品構成を見直しております。実際の商品変更反映には多少の時間を要すると存じますが、ご了承のほどよろしくお願い致します。自動販売機の商品構成については、医療機関特有の需要を考慮し内容を決定しておりますが、特定の病棟に関しては患者様の病状等を勘案して対応いたしますので、都度ご要望頂ければと存じます。

（獨協メディカルサービス）

* 携帯使用可能エリアの掲示について

掲示されていたスマートフォン使用可能エリアにて携帯を操作したところ、他患者より使用禁止の注意を受けました。スマホ利用について掲示されていたポスターが2枚あり、「携帯電話使用禁止」を示すものと、「利用可能区域」を示すものがあるため誤解を招いたと思われます。使用禁止の場所では使用禁止の掲示を、通話禁止の場所では通話禁止の掲示の徹底をしてほしい。

お答えいたします

泌尿器科待合の掲示場所を確認した際に、携帯電話使用禁止のポスターと携帯の使用可能な区域を示したポスターが並べて掲示されていた。携帯の使用可能な区域を示したポスターからは、待合では、メール・インターネットは使用可能であり、通話は禁止と表示から読み取ることができたが、携帯電話使用禁止のポスターが、携帯自体使えないような誤解を招いてしまっていることが確認できた。今後、誤解を生まないよう、新たなポスター（通話禁止）を作成し、掲示します。この度は、大変ご迷惑を申し訳ありませんでした。
(庶務課)

* 栄養部（お礼）

皆様には日頃よりお世話になっております。本日のお昼は、メニューを一つ一つ見たら普段と変わらないと思いますが、とても工夫されていました。盛り付けでこんなにも感動するものなのかと驚きながら、おいしくいただきました。入院も10日間となり、食欲もいまいちのタイミングで、工夫されているお昼をいただけたので、本当に感動・嬉しく思いました。あと数日で退院することになりますが、残りもうひと踏ん張りと思えるような食事をいただき、ありがとうございました。

* 循環器内科・看護部（A6）（お礼）

医師様、看護師の皆様には大変よくしていただき感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。ご親切は一生忘れません。ありがとうございました。

* 病院への手紙について

患者さんから寄せられる「病院の手紙」につきまして、病院長をはじめとする当院幹部役職者が目を通したうえで、該当部署に回答及び今後の対応などを報告させています。

また、隔月開催している医療サービス委員会において改善案の計画・立案を行っておりその中で改善できるものは早急に対応し、検討を要するものは少しでも患者さんのご要望にお応えできるよう日々努力しております。

この「病院への手紙」については、性質上多くが匿名であることから、該当部署から直接ご本人に回答することが困難であることもありますが、皆さまからのご意見を当院の貴重な財産として真摯に受け止め、より良い病院づくりの一助にしたいと考えております。

なお、皆さまからのご意見、そしてその回答については、この病院だよりを通じて一部ご紹介させていただきますが、それ以外のものにつきましても、現状において可能な限り然るべき対応を行っていることをご理解賜りたいと思います。